

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 892 号	氏名	Reda Fouad Ahmed Abdelhameed
学位審査委員		主 査	田 中 隆
		副 査	尾 野 村 治
		副 査	田 中 正 一
		副 査	山 田 耕 史
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価          本研究では、強い蒸発作用があり、流入河川が無く、インド洋との限られた循環などにより塩分濃度が高いなど、特異な環境を示す紅海海域に豊富に生息している海洋生物に注目し、その生産する生物活性成分の探索を目的として行ったものであり、目的は十分妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価          アセチルコリンエステラーゼ (AChE) 阻害活性並びに、新型インフルエンザウイルス (H5N1) に対する抗ウイルス活性を指標にした一次スクリーニングにより、有用な海洋生物を探索し、更に、その活性成分の検索を行い、得られた化合物の化学構造の解明と詳細な生物活性の検討を行っており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価          エジプト国紅海海域で採集した 120 種の海洋生物の中から、有用な 3 種の海洋生物、<i>Thalassodendron ciliatum</i> (海草)、<i>Mycale euplectellioides</i> (海綿動物) 並びに <i>Stylissa carteri</i> (海綿動物) を見出し、その活性成分の検索を行った。得られた結果は、創薬研究において、更なる応用と進展が十分期待できる。</p> <p>以上のように本論文は海洋生物由来の生物活性成分に関する創薬化学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬科学）の学位に値するものと判断した。</p>			